

ロシアにおけるイスラームと政治；多層的・比較的アプローチ

15310163

平成15年度～平成17年度科学研究費補助金
(基盤研究(B)) 研究成果報告書

平成18年5月

研究代表者 北川 誠 一
東北大学大学院国際文化研究科教授

<はしがき>

ロシアのイスラーム教徒人口は、今日公称2千万人を超える。ロシアのイスラーム社会が持つ活動力は、ロシア国内政治だけではなく、ロシア政府の国際的影響力を左右する能力を持っている。この研究はロシア特にウラル沿ヴォルガ地域を研究領域とする松里公孝（北海道大学スラブ研究センター）とコーカサスを研究対象とする北川誠一（東北大学大学院国際文化研究科）が、協力してロシアにおけるイスラームと政治の関わりを明らかにしようとする試みである。

この研究では、イスラームの果たす機能が連邦、州・共和国、地域のレベルで異なることを予想し、また、ウラル沿ヴォルガと北コーカサスでも異なることを想定し、多層的にまた比較的調査を実施した。また、比較のため中央アジアと南コーカサスを対象とする研究も行った。研究の分担は、松里がウラル沿ヴォルガ地方とダゲスタンを、北川がコーカサスと中央アジアを担当した。

なお、この報告書に収録したのは、この計画にかわって既に発表済みの論文のみである。沿ヴォルガ・ウラル地方に関する報告が北川の簡単なレポートを除いては見られないのは、研究を行わなかったのではなく、今回の調査結果に基づいたの研究論文執筆が継続中であるからである。松里が分担した当該地域研究の成果は程なく公刊されるであろう。

研究組織

研究代表者 北川誠一： 東北大学大学院国際文化研究科教授

研究分担者 松里公孝： 北海道大学スラブ研究センター教授

海外共同研究者

ガブドラフィコフ, イルダル

ロシア科学アカデミー・ウーファ学術センター民族社会学、民族政治学部門長

キスリョフ, エンヴェル

ロシア科学アカデミー・ダゲスタン学術センター歴史・考古学・民族学研究所上級研究員

イブラギモフ, マゴメッド＝ラスル

国立ダゲスタン大学歴史学部助教授

マカロフ, ドミトリ

ロシア科学アカデミー東洋学研究所上級研究員

ガリャモフ, ルシヤン

国立バシコルとスタン農業大学教授

ムハリャモフ, ナイル
 国立カザン・エネルギー大学社会科学講座長
 マゴメドフ, アルバハン
 国立ウリヤノフスク工業大学歴史文化講座長
 クシニレンコ, ヴラディミル
 国立キエフ-モヒラ・アカデミー大学社会科学学
 部上級教員

交付決定額（配分額）

	直接経費	間接経費	合計
平成 15 年度	3,700,000	0	3,700,000
平成 16 年度	3,500,000	0	3,500,000
平成 17 年度	3,700,000	0	3,700,000
合計	10,900,000	0	10,900,000

研究発表

(1) 学会誌等

- 1) KItagawa, Seiichi. The Nationalization of Islamic Organization in the South Caucasus, *The Construction and the Deconstruction of National Histories in Slavic Eursaiia*, 2003, pp. 291-310
- 2) 北川誠一「二つの戦争の間のロシア・ムスリム」『中東欧とロシア』東北大学、2003年、39-59頁
- 3) 松里公孝「ダゲスタンのイスラム」『スラブ研究センター・ニュース』第95号、2003年、第97号、2004年
- 4) 北川誠一「グルジア・パンキスイ渓谷問題の種族・信仰的背景」『国際政治』第138号、2004年、142-156頁
- 5) 北川誠一「野戦軍司令官からジャマーアト・アミールへ」『東北大学歴史資源アーカイヴの構築と社会メディア』、東北大学、2005年、52-69頁
- 6) Matsuzato, Kimitaka. Islamic Politics at the Subregional Level, *Europe-Asia Studies*, 2005, pp. 753-780
- 7) Matsuzato, Kimitaka. Reasons for the Instability of Daghestan,

Emerging Meso-Area in the Former Socialist Countries, Hokkaido University, 2005, pp. 221-247

8) Matsuzato, Kimitaka. Islam w naturciu od Daghestanudo, Arcana (Krakovo), Vol. 66, Nos. 6, 2005, pp. 77-91

(2) 口頭発表

この研究による成果の発表は、北海道大学におけるシンポジウム、海外の学会、東北大学の研究会、ロシア市研究会、ロシア・東欧学会等の席で行われたが、特にこの研究企画による発表の形式を採らなかったため、ここでは特記しない。

(3) 出版物

1) 北川誠一『ウズベキスタンとタジキスタンの政治的イスラーム』東北大学、2004年3月、1-20頁

2) 北川誠一（共編著）『コーカサスを知るための60章』明石書店、2006年4月